

アジア政経学会 2012年度第2回評議員会 議事録

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1. 日時 | 2012年10月13日（土）12：30～14：00 |
| 2. 会場 | 関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）G号館326教室 |
| 3. 評議員総数 | 18名 |
| 4. 出席者 | 6名（絵所、小此木、加藤、国分、高木、深川） |
| 5. 委任状提出 | 5名（家近、石井、木宮、田中、中兼） |
| 6. 出席者合計 | 11名 |
| 7. 議長 | 金子理事長 |
| 8. 議事 | |
- (ア) 定刻12時30分に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が11名（委任状による表決者を含む）にて、定足数9名以上を満たしているので、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本評議員会の議事録署名人として、絵所秀紀氏、高木誠一郎氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。
- (イ) 前回（2012年5月19日）評議員会議事録の確認を行った。

議案1. 公益法人移行について

担当の高橋理事欠席のため、金子理事長より、8月21日に内閣府への電子申請を完了したこと、10月12日に金子理事長・竹中副理事長・山本理事（総務担当）・澤田理事（財務担当）が内閣府のヒアリングを受け、指摘された点を踏まえて修正した書類を再提出すること、予定通り来年4月初旬に認可される予定であることが報告された。続いて、認可を受けた後の一般財団法人（非営利型）への移行に伴うスケジュールが説明された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案2. 東・西日本大会について

丸川理事より、5月19日（土）に大東文化大学において開催された東日本大会について、梶谷理事より、6月9日（土）に広島市立大学において開催された西日本大会について、それぞれの趣旨と内容、具体的なプログラムの報告がなされた。そのうえで、充実した内容で参加者数100名以上の盛況のうちに閉会した旨が説明された。

以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、了承された。

議案3. 海外のアジア研究学会との交流について

竹中副理事長より、7月7日（土）に開催されたドイツ・アジア学会との国際ワ

一クショップ “A Quest for Asian Studies of the 21st century”、ならびに7月8日（日）に開催された国際シンポジウム “China’s Role in Asia” について、共催団体、趣旨と内容、参加者数、会計関連の報告がなされた。そのうえで、多数の当会理事・評議員の参加と協力、および多くの会員・一般聴衆の参加のもとで活発な議論が交わされ、盛況のうちに閉会した旨が説明された。

以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、了承された。また、学会ホームページで公開する予定であることが確認された。

議案4. 全国大会の開催状況について

2012年度全国大会実行委員長・伊藤正一氏に代わって実行委員の平岩理事よりあいさつがあり、当日の開催状況について報告された。続いて、丸川理事より、全国大会の趣旨と内容、具体的プログラムの報告がなされた。

以上の報告は審議の結果、了承された。

議案5. 国際シンポジウムの開催準備状況について

清水理事が谷垣理事の作成資料に基づき、国際シンポジウム “What does ‘1972’ mean to the Sino-Japanese relations?” の趣旨と中心テーマ、報告者・討論者の国内外からの招聘状況について説明した。

以上の説明は審議の結果、了承された。

議案6. 『アジア研究』の編集状況について

園田理事より、第58巻第1・2号について、論説3本・研究2本の合併号として再校ゲラを確認している状態にあることが報告された。続いて、三重野理事より、書評の進捗状況について説明された。

また、2012年9月31日までの過去1年間における審査状況を踏まえたうえで、質の高い原稿を集め、編集作業を年間予定通りに進めるための方策について討議され、継続して審議することになった。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案7. ニューズレターの編集状況について

小嶋理事より、NL38号は発送済みであり、NL39号は来年2月上旬の発送を予定している旨が報告された。また、学会優秀論文賞受賞者については、来年春の全国大会で決定されるため、その後のNLに記載することが説明された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案8. ホームページの更新について

田村理事より、英語版ホームページの開設にあたり、基となる日本語版ホームページの情報（2008年1月現在）を刷新する必要があるため、学会の紹介と沿革、および全国大会一覧に関するページの改訂作業中である旨が報告された。続いて、英語版ホームページ上の掲載項目について説明され、固有名詞・用語等の英訳語については理事間で確認したうえで請負業者へ発注し、データベースのHTML移行と合わせ、来年の1～2月までに更新作業を完了させる予定である旨が説明された。

以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案9. 定例研究会について

丸川理事より、9月1日（土）の定例研究会は休会となったこと、次回は12月1日（土）に開催予定であり、全国大会閉会後速やかに学会ホームページ等を通して会員に募集をかける旨が報告された。

以上の報告は、審議の結果、承認された。

議案10. 複数年にわたる会費滞納者について

澤田理事より、複数年にわたる会費滞納者について報告され、その処遇については次回の理事会（12月1日開催予定）における審議を経て決定する旨が確認された。また、会費収入が減少傾向にあるため、会員の利便性を向上させるべく会費納入先を一本化する方針で手続き中であることが報告された。

以上の報告は、審議の結果、承認された。

議案11. 入・退会者について

山本理事より、入会申請者4名、復会申請者なし、再入会申請者なし、退会者8名、逝去なし、休会者1名、会費優待申請6件について報告され、承認された。

<入会者>岩佐和幸、池部亮、金恩貞、内藤寛子

<復会者>なし

<再入会者>なし

<退会者>田原史起、谷口晉吉、田坂敏雄、菊池一隆、松井範惇、

公益財団法人山梨総合研究所、施錦芳、首藤信彦

<逝去>なし

<休会者>波多野澄雄

議案12. 機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦について

山本理事より、独立行政法人大学評価・学位授与機構からの機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦依頼について報告され、金子理事長に推薦者候補の選定を

一任することが承認された。

次回評議員会は、2013年春の全国大会において開催予定。日程、場所については決定次第、評議員へ通知する。

金子議長が14時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成24年10月13日

特例財団法人アジア政経学会

議長

金子芳雅丁



議事録署名人

金子秀範



議事録署名人

高木誠一郎

